令和2年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：　都市活力　部　産業振興　室　文化振興　課

1．基本情報

1003

施設名	伊丹市立美術館				
施設の設置目的	市民の美術に関する知識及び教養の向上並びに芸術の振興を図る。				
伊丹市総合計画（第５次）における関連施策	政策目標：　にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標：　個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策：　芸術文化のまちづくり				
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 （団体の住所又は所在地）　伊丹市宮ノ前１丁目１番３号伊丹市立文化会館（東リ　いたみホール）内				
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成　31 年　4 月　1 日　～　令和　4 年　3 月　31 日			
管理運営上の目標（管理運営の指定管理者の具体的目標）	指標名	展示事業数　（単位：　回　）			
	指標の意味	年間の展示事業数			
	今年度の目標値	3	上期の実績値	1	

2．利用状況

		H17※	H28	H29	H30	R元	R2（上期）	R2（通期）
利用状況等の推移	来館者数（人）	12,727	37,485	53,671	77,146	36,538	8,074	
	延べ事業開催回数(回)	6	14	18	20	42	1	
	延べ事業参加者数(人)	12,727	37,485	53,671	77,146	36,538	8,074	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3．経費情報

<単位:千円>

	区分		平成30年度（2018）	令和元年度（2019）	令和2年度（2020）計画	令和2年度（2020）実績（上期）
指定管理者の収支	収入	使用料収入	31,047	16,645	9,241	4,212
		事業収入	17,165	9,521	4,979	1,421
		その他	0	0	0	0
		指定管理委託料	73,136	71,365	62,685	40,163
		①合計	121,348	97,531	76,905	45,796
	支出	維持管理　光熱水費	7,174	7,309	6,967	4,450
		維持管理　清掃等委託料	6,472	7,251	6,004	1,843
		維持管理　土地建物賃料	0	0	0	0
		維持管理　修繕料	1,615	1,066	701	148
		運営　人件費	36,981	34,791	32,910	16,035
		運営　事業等経費	50,960	42,572	29,029	10,185
		運営　その他	1,193	1,316	1,294	472
		運営　指定管理納付金	0	0	0	0
		②合計	104,395	94,305	76,905	33,133
	純収支（①－②）		16,953	3,226	0	12,663

		H27	H28	H29	H30	R元	R2（上期）
施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	0	0
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	74,936	78,969	71,037	73,623	153,773	70,980
	（内、指定管理委託料）	69,055	69,188	69,777	73,136	71,365	40,163
	実質経費（歳出－歳入）	74,936	78,969	71,037	73,623	153,773	70,980

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4．業務評価

評価項目		（具体的内容）	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	A	臨時休館中でも委託業務の業務水準が下がらないよう、随時点検を実施したほか、定期的に施設内の消毒を行うなど感染症対策にも取り組んだ。	A	清掃業者による定期的な清掃に加え、職員による確認も行い、館内は清潔に保たれている。また職員・スタッフによるこまめな消毒作業によりコロナの感染予防対策もなされている。多数の備品も台帳を常に整備し、適切に管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	臨時休館中は、感染症対策として在宅勤務を取り入れ出勤者数を調整したほか、休憩時間もずらすなどして、事務所が密にならないよう配慮した。	B	職員配置は適切にされている。コロナ禍の臨時休館中の職員の出勤調整も適切であった。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	非常時に迅速に対応できるよう、連絡体制を整備している。	B	みやのまえ文化の郷内で、コロナ発生時など緊急時の行動確認を行い、連絡体制も整っている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施し、寄せられた意見・要望に対して迅速な対応を行っている。職員はもちろんのこと、委託業者にもサービスの向上に努めるよう指導している。	A	コロナ禍での少ない開館日数の中、アンケート回収されているが、今後は他の手法でも意見収集可能となる取組を検討されたい。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組を確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	臨時休館により開催できなくなった展覧会を調整の上、時期をずらして実施。展覧会の解説動画や展示風景の写真をホームページに掲載し、広く紹介した。	B	コロナ禍で中止となった展覧会の解説動画を作成しWebで紹介するなど、効果的な事業展開がなされている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護方針を順守し運用している。また、逐次、ホームページで開館情報や混雑状況、感染症対策について掲載し、周知に努めた。	B	ホームページやプレスリリース、SNSなど積極的な情報発信が行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収入は事業中止等により当初の見込みより減となったが、可能な限り支出を調整するなど、適切な執行に努めた。	B	事業中止もあり、当初収入見込より減となったが、経費節減に努めるなど、支出調整により適切な会計処理がなされた。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味
「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。　「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。　「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評
総合評価
B

上期に予定していた展覧会は、コロナ禍で２事業が中止となったが、『生誕140周年　熊谷守一展』は会期変更や来館者への感染予防対策を行うなど万全な対策を行い、実現可能となった。また、関連事業は中止となったが、展覧会の動画を作成し、Web公開するなど情報提供を積極的に行えていた。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和2年5月26日～令和2年8月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・新しい発見が出来て感動した。	・リニューアルオープン後も見応えがあり、印象に残る展覧会を行っていく。
	・素晴らしい企画だった。	
	・解説文の分かり易さと情緒的な表現に魅力を感じた。	
回答者数	・コロナ禍でも中止せず開催され、有難い。	・今後も適宜適切に対応していく。
262	・感染症予防の取り組みを受け、安心してゆっくり観ることができた。	
	・トイレが狭い。和式トイレはしんどい。	・再整備事業でトイレは洋式に更新される予定。
	・地下の昇降階段は辛い。	・エレベーターの案内を丁寧に行う。

5．改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置